

R2年 事業報告 (R2年1月～R2年12月まで)

押し花合同会社 花ことば
代表社員 押川 亘

事業報告

当事業所は、4年目を迎えた。今年度は、新型コロナウイルスの影響でたくさんの制限がかかった1年だった。3月～5月は休校と分散登校、運動会や学習発表会なども制限がかかり、12月には都城市でも新型コロナウイルスが蔓延し始め、1年を通して制限と我慢を強いられた。その中でもできる事はないかな？来所してくる子供たちが楽しくできる事はないかな？と室内でできる事と感染対策について検討するいい機会になったのではないかと考えている。当事業所では、アルコールの消毒と次亜塩素酸の消毒を利用し、体温測定、手指消毒、おもちゃの消毒、個々のタオル使用（紙タオルも含）など感染しない、広めないためにできる事を考え実施してきた。また、事業所間の話合いや研修等ができなかった分、事業所内での話し合いは密に行う事ができ、利用児童の成長や課題等について話し合い、次年度の課題に対する支援方法について検討することができたと思う。

児童発達支援では、未就学児（保育園や認定こども園等に通園している子どもも含）に対して、季節行事に合わせた製作を取り入れながら活動を行ってきた。外出を制限されていた児童のため、人のいない公園を探し時間を見ながら利用しストレス軽減を図る様努めた。放課後等デイサービスでは、室内での遊びを実施し、お友達との関わり方やルールを守るなどカードゲーム等を使いながら支援を行った。また、花ことばでは、言語聴覚士による個別療育を行っている。個別療育は、視覚的課題を言語化し、ヒアリング向上と語彙理解向上に努めコミュニケーション力を高められるよう支援を行った。言葉数が少なく「遊ぼう」という一言が言えず手を出してしまう子ども、「貸して」が言えず目で訴えている子どもたちに対して、代弁をしたり、「〇〇って言ったらいいいよ」など言葉を使う事でスムーズにやり取りができる事を伝えるよう支援を行ってきた。保育所等訪問支援では、新型コロナウイルスの影響を見ながら、言語聴覚士や保育士が訪問し、集団生活の中で子どもが困っている事や苦手としているところに対する支援方法について検討や助言することができた。

昨年度1回目の花ことば茶話会を実施し、ご家族間の情報共有、花ことばへの意見などご家族から情報を聞くことができていたが、今年ではできていない。新型コロナウイルスが落ち着き次第、検討し実施していきたいと考えている。来年度は、児童の成長を図り次の課題へのステップアップを職員やご家族と一緒に振り返り、よりよい質の高い支援につなげられたらと考えている。

◎多機能型事業所

児童発達支援事業		
対象者	未就学児	1日3～5名受け入れ
定員	放課後等デイサービスと合わせて 10名	
営業曜日、時間	月・火・木・金・土9：00～18：00	

放課後等デイサービス		
対象者	就学时（18歳未満）	1日4～7名受け入れ
定員	児童発達支援と合わせて10名	
営業曜日、時間	月・火・木・金・土15：00～18：00	

※夏季休暇などの学校休業日は上記に限らない場合有り

保育所等訪問		
対象者	未就学児、18歳以下の児童	
定員	制限なし	現在月3～5人程度
営業曜日、時間	月・火・木・金9：00～18：00	